

伊予市

じんけん教育

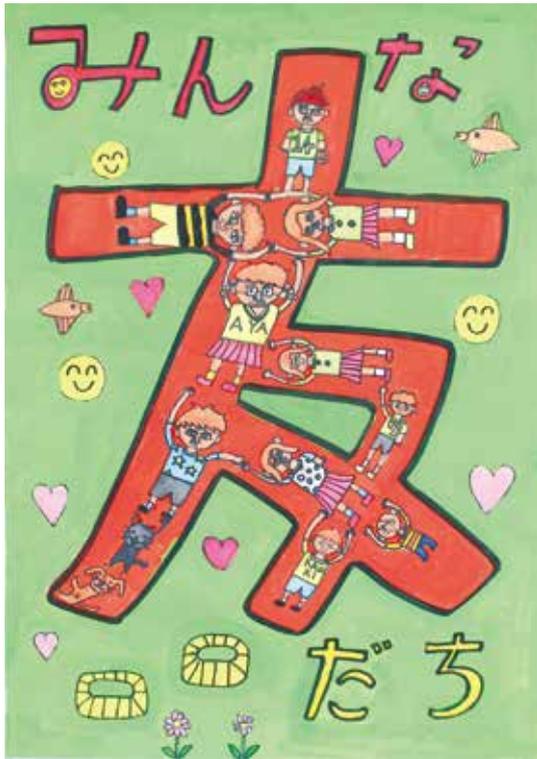
一人ひとりの人権が尊重される
明るい伊予市をめざして



2023
No. 40



■編集・発行
伊予市教育委員会
愛媛県人権教育協議会伊予市支部
〒799-3113 伊予市米湊 820番地
TEL 089-982-5155 FAX 089-982-5156



人権啓発ポスター
入賞作品

郡中小
山内 5年
銀太

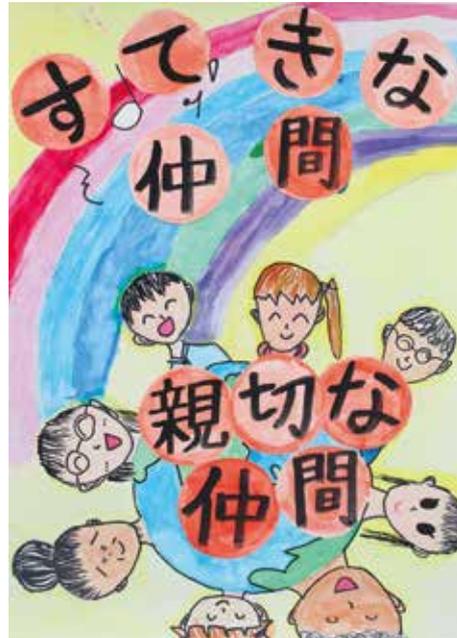
今年度も人権啓発・人権意識の高揚を目的として、人権啓発作品を募集したところ、たくさんご応募いただき誠にありがとうございました。

応募数は、小学生286点、中学生93点、高校生15点、成人198点、総数592点でした。最優秀、優秀に輝き入賞された皆様おめでとうございます。

伊予市人権啓発作品の紹介



中山中 2年 沖野 菫香



中山小 4年 沖野 陽菜香

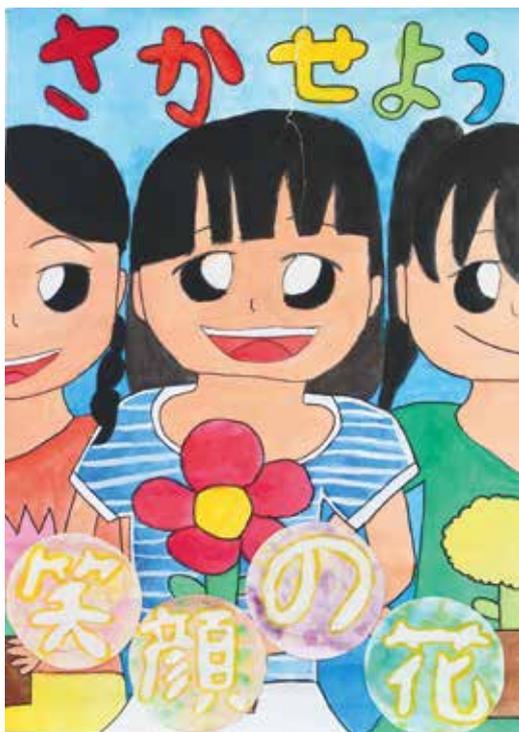


伊予小 6年 黒田 堇



中山中 2年 松原 淳美

人権啓発ポスター 入賞作品



郡中小 4年 柏木 雫



双海中 3年 大野 葵



郡中小 4年 大森 麻生



伊予小 6年 三瀬 愛心

人権詩 入賞作品

一人ぼっちがない世界

北山崎小学校

四年 中野 朔

大切なこと

郡中小学校

五年 萩山 聖稀

みんなの気持ち

ふつうは分からない

心の中は見えないから

分からないなら想像しよう

分かるうと考えよう

悲しそうなら「だいじょうぶ？」

うれしそうなら「やったね」

困ってそうなら「どうしたの」

努力を知っていたなら「がんばったね」

顔を見て想像しよう

動きを見て考えよう

そして、声をかけよう

みんなの気持ち

ふつうは分からないけれど

想像してみれば分かる

考えてみれば分かる

みんなの気持ちを考えるのは

みんなにとって大切なこと

「いっしょに遊ぼうよ。」
その一言で 一人がいなくなる
その一人の勇気で 世界が明るく楽しくなる

友達に言う「いっしょに」は
相手を明るく 元気にする

自分も明るく 元気になる
それを見て

周りも明るく 元気になる
そうやってぼくは

一人ぼっちがない世界をつくりたい

心を進化させよう

港南中学校

一年 宇都宮 來美

無視をする心
うそをつく心
物に当たる心
ごまかす心
そんな心を
表に出してしまっている人がいる
思いやる心
努力をする心
行動を起こす心
友情を大切に
する心
そんな心も表れている人がいる
どんな心でも私は認めたい
誰だって嫌な心や優しい心がある
いろんな心が組み合わさって
人の心ができている
私の心 友だちの心 先生の心
誰だって
自分だけの輝く心があるのではないか
自分にしかない輝く心は
輝く個性に進化する
輝く心を進化させよう

きせきの命

伊予小学校

六年 田中 颯真

ぼくたちの命は きせき
大切に 一つしかない命
簡単に奪ってはいけない
あきらめてはいけない
わかりきっているようで
実はわかっていない
だって 世界には
命を軽く考えているとしか思えない
ことが起っているから
戦争で何人の命が無くなったか
自殺で何人の人が悲しんだか
人は歴史を学んであやまちを正そう
と
相手を思いやって自分も愛そうと
も
でも、また戦争は起っている
命は簡単に無くなっている

ぼくたちの命は

ご先祖様からつないできたもの

誰一人欠けていても、

ぼくはこの世にいないだろう

気の遠くなるような

長い道のりの途中で

ぼくは 今 生きている

だから

簡単に命が無くなるのを見るのは

もういやだ

みんなも ぼくも

自分自身を大切に

一生懸命生きてほしい

生きているだけで きせき

そう思えば 何でもできる

その他人権詩 入賞者

☆ 下灘小学校 六年 濱田 真那

☆ 由並小学校 五年 湊 広貴

☆ 郡中小学校 四年 柏木 雫

☆ 中山中学校 三年 花岡 大樹



大切な友達・仲間！

下灘小学校

四年 魚見 優衣

じょうぶだよ。」となぐさめてくれました。わたしは、友達がいよかったなと思いました。今、思い出しても、そう思います。

三、四年生や全校で遊ぶ時は、みんながいつしよに遊べて仲良くなれるのでうれしいです。下灘小学校では、全校のみんなと仲よしです。

いいいい友達だと思えるようになりたいです。友達とのかかわりについて考えていると、わたしは、二つの言葉が思い浮かびます。それは、「助け合い」と「友情」です。

わたしは、友達がいよかったと思うことがあります。一つ目は、1学期に図書室で本をかりる時、図書委員の仕事もさせてもらえなかったときです。わたしは、貸し出しの仕事をしたくて図書委員会に入っていました。でも、友達が、自分だけして、わたしにさせてくれませんでした。

別の時に、友達からいやなことを言われてわたしが言い返せなくてだまってしまった時、S君がはつきりとわたしの代わりに言ってくれました。また、ほかのことで心がいたんだ時にも、いつも友達が代わりに言ってくれたりなぐさめてくれたりして、しずんでいた気持ちが軽くなりました。すっきりしたりします。

二つ目は、友達と遊んでいる時です。一人でいる時、「入れて。」と言うとすぐ入れてくれてうれしいです。また、

三つ目は、じゅう道の試合のことです。夏休みのじゅう道の試合の時、わたしは、試合の前はみんなとはなれていて、ドキドキして少し不安でした。仲間達が「がんばれー。」「ゆいちゃん、がんばれー。」とおうえんしてくれました。わたしは、うれしくて、不安がなくなりました。そして、試合では、力を発ぎできました。

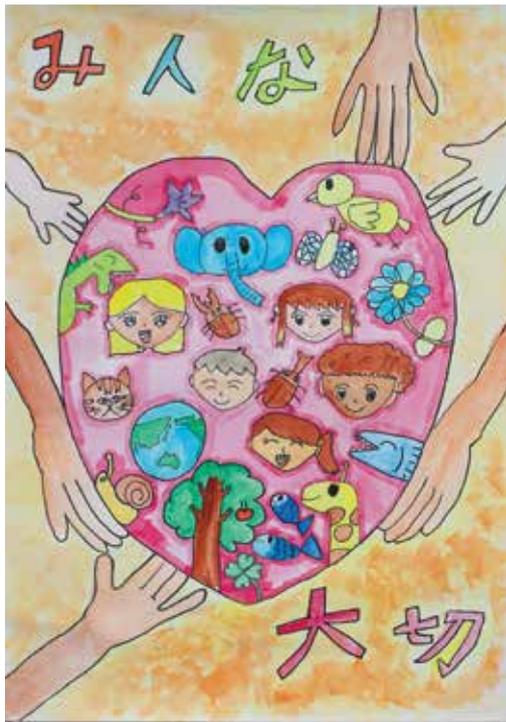
(5)

ん、だいじょうぶ?」「だいた

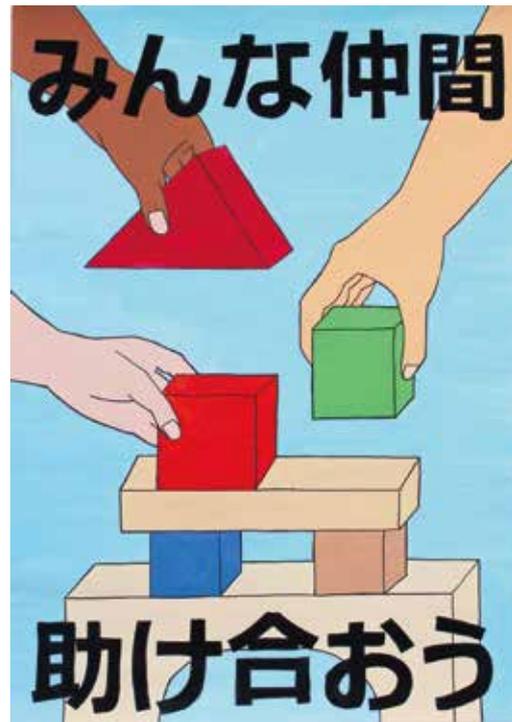
また、ぎやくに、友達がいやな気持ちになっていたら、相手の子に注意したりけんかになっていたら、仲直りさせたりしています。

じゅう道では、仲間とたたかうときもあり、おうえんし合うときもあり、練習では、助け合っています。みんなライバルであり、今は、仲のいい友達です。わたしも仲間を助け、時にはライバルとなり相手からもわたしからもたが

わたしには、大切な友達や仲間がいます。わたしも相手にとって大切な友達や仲間になりたいです。みんなにもきっと友達や仲間がいるはずです。その友達、仲間を大切にして友情をもっともつと深めていけるといいです。「大切な友達・仲間！」とみんなに伝えたいです。



北山崎小 5年 橋田 叶実



伊予農業高校 1年 岩佐 愛花

弟に教えてもらったこと

郡中小学校

五年 福岡 真優莉

私には四つ下の弟がいま
す。自閉症と知的障がいがあ
ります。弟は、まだ自分の気
持ちを話したり、上手くコ
ミュニケーションをとったり
することがむずかしいです。
気持ちが相手に上手く伝わら
ないときには、悲しくなっ
たり、くやしくなったりして泣
いてしまうこともあります。

の人が弟を保護してくれまし
た。お店の前には大きな道路
があり、保護してもらえな
かったら事故にあっていたか
もしれないので、お店の人に
は感謝しています。

買い物に行った時、自分の
思い通りにならないとパニッ
クになって、大声を出しながら
らつないでいた手をふりほど
いて、どこかに走って行って
しまいます。公園に行った時、
他人のジュースを取って飲も
うとしてしまうこともありま
す。また、目をはなした間に
迷子になったこともありま
す。その時は、家の前のお店

障がいがあるとへん見の目
で見る人もいますが、弟はみ
んなと同じで、いやなことを
されたらいやな気持ちにな
り、楽しいときはいっしょに
笑うのです。お母さんは、
「家族なら弟のことについて
よくわかっていけるけど、外に
出ると、弟のことを知らない
人がほとんどだよ。学校も
市外だから大事なことはまず
身近な人に知ってもらおうこ
と。地域の行事に参加したり、
友達が来たときにいっしょに
遊んだりすることで少しでも
知ってもらえるとうれしいよ
ね。」
と言います。

コロナが流行してマスクを

つけないとどこへも行けなくなってしまうって、弟の世界はせまくなっています。今年の夏休みは初めて放課後等デイサービスという所です。ごしました。私は、放課後等デイサー

とって楽しくすごせる場所だということがよくわかります。お母さんが言っていた弟を知ってもらおう場所が一つふえて私はうれしいです。

ビスが何なのかわからなかったので調べてみました。放課後等デイサービスは、しえんを必要とする障がいのある子どもに対して、学校や家庭とはちがう時間、空間、人、体験等を通じて、個々の子どもの状態ように応じた発達支援を行っている所だそうです。

私は、どんな障がいがあってもふつうにせつすることが一番大事だと思います。弟は人とはちがうところもあるけれど、みんながってみんないいと思うし、一人一人の個性が大事にされる時代になっているので、これからはもっと差別やへん見がなくなるとほしいと思います。そして、弟にたくさん笑って、楽しくすごしてほしいと思います。

わたしにできること

北山崎小学校

五年 山先 那奈

いじめは、どうしておこるのでしょうか。そして、どうして、なくならないのでしょうか。考えてもよくわからないうか。でもいじめを減らす方法の一つは、周りの人たちの行動にあるのではないかと思っています。

ような気がします。もしも、見て見ぬふりをしている人たちみんなが、心を一つにして、いじめをやめたらとか、いじめはだめだよねという空気を出したら、どうなるでしょうか。いじめている人も、いじめをしにくくなるのではないのでしょうか。見て見ぬふりをしている人が、いじめはだめだという気持ちをもった軍団になるのです。

スポーツなどでは、遊ぶことが多いです。そのため、弟が利用する放課後等デイサービスはバランスボールやトラランポリンでよく遊んでいます。放課後等デイサービスを利用して帰ってくる弟はいつもニコニコしているので、弟に

それは、いじめを見て見ぬふりをしてしまうことをやめるといことです。見て見ぬふりをして見ぬふりをするのうして見て見ぬふりをするのでしょうか。それは、次に自分がいじめられると思うからだと思います。でも、見て見ぬふりをして見ぬふりをする人たちの数は、いじめたり、いじめられたりしている人より多いのではないかと思えます。数が多

いというのは、ちょっと強い

そのためわたしにできることは何かかと考えてみると、声をかけることかなと思えました。いじめられている子にも、見て見ぬふりをしている人たちにも、声をかけたらいいのではないかと考えました。わたしが声をかけられると思う理由は、もしもいじめられている子がどんどん行き場をなくして、本当に死にたいと思っているかもしれないと思うからです。そのいじ



めで命がなくなってしまうたらと思うと、こわいなと思います。自分がいじめられるのもこわいですが、その子がつらい思いをしていると気づいているのに、何もしなかった方が、もっとこわいんです。だから、声をかけられると思うのです。

そして、私には、私を大事に思ってくれる人がいます。愛してくれる人がいるから、勇気を出して声をかけられるんだと思います。もしも、きずついても、立ち向かっていけると思います。

いじめられている子の心のきずは、深くてうめられないぐらいかもしれません。でも、人にはきつと愛してくれる人がいると思うから、自分を信じ生きていけると思っています。自分を大切に思ってくれている人がいるということがいつも心にあれば、いろいろなことが

あっても、生きていけると思うし、生きていってほしいと思います。

そして、いじめられている子がいつでも、だれにでもなやみを相談できたらいいなと思います。そのためにも私は「どうしたの」「大丈夫。」と声をかけていきたいです。そして、「もう、やめようよ。」と言えるようになっていきたいです。

障がいがあるというこ

郡中小学校

六年 原田 蒼士

ぼくには少し変わったところがいます。物心がついたときから、おばあちゃんの家に行くとき、小さいときにはよくけんかをしていました。りょうくんといいます。

りょうくんは、早く産まれてきてしまって、とても小さく、ニキログラムもなく、育つかどうかも分からない状態だったそうです。それでも保育器の中で看護師さんやお医者さんが一生懸命育ててくれて、すくすくと大きく育ちました。

でも、五歳ぐらいのときに知的障がいがあると診断されました。しゃべれるけど何を言っているのか分かりません。お母さんが注意したことを聞かないこともあります。

ぼくが貸したおもちゃを返してくれないこともあり、けんかになったこともありました。トイレに間に合わなくて大変なこともあります。

りょうくんはいつもにこにこ笑っています。だからぼくは、りょうくんのことが好きで、いるのが当たり前で、おもしろいです。ある時、ぼくのお母さんとぼく、お姉ちゃん、りょうくんといっしょに、マクドナルドに行きました。その時に、周りの人がぼくたちのことをじろじろと見ていることに気がきました。少し変わった歩き方をしているし、大きな声でしゃべったり話しかけたりするのが、きつと目立ったのだと思います。でも、お母さんは気にせず、りょうくと楽しくしゃべっていました。たしかに周りの人を見ると、りょうくんのような子はいません。いた



らぼくも見てしまうのでしょ
うか。

いろいろな人がいて、みんな
がそれぞれ自分にしかないも
のをもっていて、みんなおも
しろいのだと思います。人と
同じでないといけない理由な
んでないし、変わっている人
がだめなわけでもない、だか
らいいんだと思います。りよ
うくんは悪くないし、ぼくた
ちががまんすることは何もな
いと思います。

障がいがあるという言葉の
意味も分かりません。その言
葉自体が、なんだか差別して
いるように感じます。もっと
適した言葉はないのでしょ
うか。

けがをして車いす生活に
なった人が、
「歩けないことは、ぼくにとっ
て何の不自由でもない。ふつ
うに生活できて、笑っていら
れるのだから。」

と書いていました。ぼくは、
その人が楽しく生きていられ
るなら、障がいあるとかな
いとか、人が決めることではな
いのだろうと思いました。
みんなが楽しく、笑ってい
られる世の中にする。それが
ぼくたちみんなの目標になれ
ば、きっとみんなが住みやす
い世界になると思います。



(ポスター入賞)

郡中小 6年 大西 柚夏

人権という名の「バトン」

伊予中学校

二年 西村 桃子

「まあ、仕方ないよね。」
これが私の母の答えだった。

小学校高学年の頃から、人
権について徐々に学習をする
ようになった。学習していく
上で、一つ宿題を出された。
その内容として、もし、自分
の子ども（私）が被差別部落
出身の人を結婚相手として連
れてきたらどうするかという
ものだった。私はこの宿題を
出される前から部落差別につ
いて母に説明してきたつもり
だった。しかし、母から出た
答えは、この答えだった。私
は受け入れて欲しかった。「仕
方ない」その言葉が私の心に
引っかかった。差別について
勉強している身としては、母
には差別する側にしてほしく
ない、その一心で説得した。

母が、被差別部落について抵
抗をもつ理由の一つとしてあ
るのは、差別などについて知
識が少ないということだっ
た。母と同じように私も部落
差別を知らなかった。初めて
「部落差別」という言葉を聞
いた時、クラスのほとんどが
「部落」ではなく、「ブラック
差別」だと思ったようだ。ブ
ラック企業のようなものだと
勘違いしていた。このように
部落差別自体を知らなかった
のだ。そこで私は考えた。差
別自体を知らなければ差別を
しないのではと。実際、私も
私が住んでいる社会で起こっ
ていることを知らずに生きて
きて、人権の授業で初めて
知った。もしも、授業によっ
て差別問題を知り、差別を意
識し始め、無意識に差別し始
めることが起きるかもしれな
いと思った。しかし、このよ
うに考えるにつれて、差別を

し始める人を説得するためには授業を受けてきちんと理解をすることが大切だと思った。なぜなら、正しい知識を身に付けていないと説得することができないからである。知識が無い状況で差別意識を持っている人と出会ってしまったらその人の影響を受け、差別することが常識、正しいことと勘違いをしてしまい、差別につながってしまうかもしれないからである。

いま、全国水平社が設立されて百年だが、未だに差別が残っている。今までと同じことをしていても差別はなくならないと考える人が多いのではないだろうか。

私が授業を受けてきた中で、これまでずっと言われてきたことは、「なかまを増やそう」である。そこで、私は、今年度、人権委員会に入り、伊予中学校全体へなかま作り

を発信していきたい。人権集会を行い、全員が同じ意識をもったなかまとなるように活動をしている。また、家族や地域の人達には、アンケートや説得などを行って、心強いなかまを増やしている最中だ。

そして、私が、私たち伊予中生がこれからも人権という名の「バトン」を次の世代へとつないでいく。

優しい社会にするために

港南中学校

3年 鶴久森 ゆり

みなさんはノーマライゼーションという言葉を知っていますか。ノーマライゼーションとは、福祉用語の一つで、障がい者や高齢者などが、他の人と平等に生きるために社会基盤や福祉の充実などを整備していく考え方を指します。日本では、国連総会が一九八一年に宣言した国際障害

面的に参加し、他の市民と同様の生活条件を享受し、生活条件向上の成果を等しく受ける権利を持つということですね。

者年をきっかけに、ノーマライゼーションの考え方が意識され始めました。この国際障害者年のテーマは「完全参加と平等」です。障がい者は、その社会と生活の発展に全

私は、一年くらい前からこのような障がい者の歴史や背景について学んでいます。私が学び始めたきっかけは、小学四年生のときに始めた手話です。私は小学五年生のときから毎年手話検定試験を受けていて、去年受けた二級からは、手話や障がい者に関する知識問題というのが加わりました。そこから少しずつ学んでいく中で、日本ではバリアフリーの様々な取組が行われていることを知りました。例えば、障がい者手帳の交付を受けると、聴覚障がい者の場合、日常生活用具の給付、貸与条件を満たせば、聴覚障がい者用情報受信装置や福祉電話の貸与を受けることができます。



港南中 2年 尾崎 萌花

るそうです。これを知ったとき、私は手話を学び始めてすぐの小学四年生の頃、サークルの聴覚障がいのある方がおっしゃっていた言葉を思い出しました。

「普段の生活で、耳が聞こえなくて困ることはありません。ただ、何か災害が起こったときに心配です。」

これを聞いたとき、すごく驚きました。もちろんこれだけが理由ではないですが、以前より社会や福祉が充実してきたというのも理由の一つかなと思います。

しかし、この話でもっと大切なのは、災害が起こったときのことです。確かに周りの環境福祉の充実により、日常生活においては過ごしやすくなっているかもしれませんが、でも、聴覚障がい者に限らず、災害などの緊急事態のときは福祉や社会の力だけでなく、

私たち一人一人の力がより必要になります。そんなとき、私たちも慣れていない場面でも急にそのようなことをするのは、なかなか難しいと思います。障がい者、高齢者などまわりを見れば、困っている人はたくさんいます。だから、普段からそのような方々への小さな配慮を心掛けることが大切です。

ノーマライゼーションが充実しただけでは本当の優しい社会というよりも私たちの小さな心掛けがあってこそ優しい社会であるということ、サークルの聴覚障がい者の方の一言から学ぶことができました。これからもたくさんの手話を勉強して、障がい者の歴史や背景について知りたいです。そして将来、そのことが生かせる職業に就きたいです。

受賞 おめでとうございます



11月10日に、愛媛県人権・同和教育研究大会が松山市で開催されました。

全体会では、地域における人権・同和教育の推進者として卓越した指導力を発揮し、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて尽力された功績で、本市の西岡博幸さんが人権・同和教育推進功労者知事表彰を受けられました。

また、伊予中学校の人権委員会生徒たちの活動をまとめた「部落差別解消を目指す動画メッセージ」が、優秀作品として上映されました。



翠小 5年 奥田 樹

人権標語 最優秀作品

◆みんながね わらいよるかおが すきやけん

南山崎小 一年 源田 海響

◆ほめことば みんなの心を はげますよ

南山崎小 五年 川中 佑真

◆マスクでも 目と目でニッコリ えがおさく

郡中小 三年 古田 陽葵

◆みつけたよ 今日も きみのいじょう

郡中小 四年 池田 光

◆みんなちがう 100人いたら 100とおり

伊予小 二年 原田 杏音

◆おそれるな あなたの勇氣 声を出せ

下灘小 六年 関木 柚

◆学ぶほど 広がる知識 人権社会

伊予中 一年 両村 桃子

◆「行きたくない」が

「生きたくない」になる前に

中山中 一年 逢沢 紀乃

◆大切なこと SNSを使わず 相手の目を見て

双海中 三年 三井 汐音

◆もうやめよ 見て見ぬふりも 立派ないじめ

伊予農高 三年 三好 遥

◆多様性 認めて育む 人権意識

伊予小 PTA 長尾 奈美

人権標語 優秀入賞者

(一般)

南山崎小 PTA 石村 大祐

南山崎小 PTA 田中 笑美

南山崎小 PTA 古川 くるみ

北山崎小 PTA 石村 昌弘

郡中小 PTA 山本 卓実

中山小 PTA 宮田 美香

中山小 PTA 東浦 雅子

佐礼谷小 PTA 水本 彩香

下灘小 PTA 二宮 登紀子

翠小 PTA 長谷波真将斗

(児童・生徒)

北山崎小 二年 山先 隼太郎

郡中小 一年 篠崎 ゆり

郡中小 五年 兵頭 海音

郡中小 六年 武田 流星

伊予小 一年 兵頭 里李夏

伊予小 三年 水木 湊介

伊予小 四年 清水 心葉

中山小 四年 長野 葵

佐礼谷小 六年 水本 幸来

由並小 三年 島田 来輝

由並小 五年 對馬 美弥美

翠小 二年 伊藤 圭希

港南中 一年 玉岡 小都美

港南中 二年 中村 美優

港南中 三年 下久保ゆめの

港南中 三年 石川 いづみ

中山中 二年 東岡 月輝斗

双海中 一年 濱田 大和

伊予農高 一年 石村 佳代

伊予農高 二年 甲斐 紅苺

